

森林の多様性を知るプログラム

目的・ねらい

森林には陸上の動植物の 8～9 割の生物が生息しているといわれている。森林の樹木や植物、そこに生息する動物・昆虫・野鳥を観察し、森林の生物の多様性や生物間の関わりを知り、体感することで、森林の役割や大切さを学ぶ。

対 象 小学生高学年以上

活動内容

森林は多くの樹木が生育している場所だが、植物だけではなく動物も多く住んでおり、陸上の動植物の 8～9 割が生息しているといわれている。そして、森林の中では様々な生物が互いに関わりあひながら暮らしている。そのような森林内での生物の関わりや生物の多様性についての話をした後、以下のプログラムから 2 つ以上選択し実施する。

活動	内容	実施可能人数	所要時間	備考
野外でビンゴ	ビンゴシートのマスに書かれた自然に関するの事象を発見し、より多くの「ビンゴ」を目指す活動。	—	約 1 時間	活動シート等あり。
グリーンアドベンチャー	施設内の樹木を歩きながら観察し、樹木と触れ合い樹木のことを知る活動。	—	約 1 時間 30 分	活動シート等あり。
自然観察	施設内を散策し、動植物・昆虫等の観察を行う。団体独自での実施も可能だが、自然観察の指導員を依頼することもできる。	—	2～3 時間	指導員 1 人で 30 人指導可能。指導料は指導員 1 人 5000 円。
野鳥観察	施設内を散策し、双眼鏡を使い野鳥観察を行う。団体独自での実施も可能だが、自然観察の指導員を依頼することもできる。	60 人	2～3 時間	指導員 1 人で 20 人指導可能。指導料は指導員 1 人 5000 円。
水生生物観察	施設内を流れる硫黄沢や少し離れたところにある松倉川で水生生物（主に水生昆虫）を採取し観察する活動。団体独自での実施も可能だが、自然観察の指導員を依頼することもできる。	60 人	約 2 時間	指導員 1 人で 30 人指導可能。指導料は指導員 1 人 5000 円。活動シート等あり。
ナイトハイク	夜に行うハイキング。危険のない範囲で暗闇の中で歩いたり、途中、全員で懐中電灯を消したりと、暗い夜を体験し、昼間とは違う夜の森を感じるプログラム。	—	約 1 時間	

最後に「まとめ」として、同じ森林内に生息する生物どうしがどう関わりあっているのか、生物多様性がなぜ大切なのかについて話をする。

木材資源の有用性を知るプログラム

目的・ねらい

木材資源は伐採後に植林すれば再生産可能で、また木の成長に伴い二酸化炭素を吸収し大気中の二酸化炭素を増加させることなく利用できる「持続可能な資源」である。その資源としての木材の有用性を知ること、森林保全の大切さや環境負荷が少ない生活について考える機会とする。

対 象 小学生高学年以上

活動内容

木材資源は伐採後に植林すれば再生産可能で、また木の成長に伴い二酸化炭素を吸収し大気中の二酸化炭素を増加させることなく利用できる「持続可能な資源」である旨の話をした後、以下のプログラムから 2 つ以上選択し実施する。

活動	内容	実施可能人数	所要時間	備考
樹木の香りスプレーづくり	クロモジ・アカマツから香り成分を抽出したもの（アロマウォーター・アロマオイル）を配合しオリジナルの香りスプレーを作る。	10 人～ 30 人	約 2 時間	体験料（材料費・指導料込）は一人当たり 500 円。
丸太切り体験	のこぎりを使い丸太を切る活動。希望により、切った材料でのクラフトも可能。	～30 人	30 分～ 1 時間	事前相談が必要
木材を使うクラフト	マイはしづくり・スベラップ・木のコースターづくり等のクラフト活動。	—	2～3 時間	活動ごと材料費が必要。
木のハガキを送ろう	木のハガキにメッセージを書き、自然の家から自宅等へ送る。	—	1～2 時間	事前相談が必要
野外炊飯・焚火（キャンプファイヤー）	野外炊飯や焚火（キャンプファイヤー）の際に、燃料としての木に注目させ、木が化石燃料よりも環境への負荷が少ないということに触れる。（カーボンニュートラル）	—	野外炊飯 3～4 時間 焚火（キャンプファイヤー） 1～2 時間	<野外炊飯> 食材費・野外炊飯施設使用料（200 円）・薪代（1 束 600 円）が必要。 <キャンプファイヤー> 薪代（1 束 650 円）が必要。
ログハウス宿泊体験	宿泊棟がログハウスであることを活かし、ログハウスで宿泊することで、材料としての木の特徴を感じとる活動。（木材のよさや炭素貯蔵効果など）	—	—	ワークシートあり。

最後に「まとめ」として、「持続可能な資源」である木材資源について、環境負荷が小さいことやその重要性についての話をする。